

## 平成16年度全国女性委員会会議報告

- 期日 平成16年7月17日～18日
- 場所 日本青年館
- 参加者 大石真奈美（福嶋綾子女性部長の代理出席）

### [会議報告]

#### ★アテネオリンピックについて

全体参加312名中（男子141名、女子171名参加）。女子選手のほうが多い参加となった。東京五輪から40年で、女性の力がおおいに発揮できている成果である。陸上競技団体としても、女子の数を増やすことでさらに強化につとめたい。

#### ★挨拶（日本陸連女性委員長：山崎寿美子）

##### 今年度の目標

- 1 女性の競技力向上・新種目の普及強化
- 2 女性の指導者、役員、及び審判員の資質向上、研修の場の提供
- 3 女性連絡会議の充実
- 4 女性と陸上競技に関する研究
- 5 女子選手の強化プロジェクトの推進

#### ★1日目「女性の参画について」ディスカッション

参加加盟団体をアトラダムに6ブロックにわけ、意見交換を行った。地区によって格差があるようであるが、ここで出た意見を参考に、今後も積極的にがんばってほしい。

#### ★2日目「ビスボーツアカデミー代表取締役：櫻井勇司氏による講話」

自身のスキー選手時代のことをもとに、バランス、トレーニング論、ストレッチ、メンタル面について話をされた。

講演「脱力と身体意識の形成法」運動科学総合研究所所長 高岡英夫氏